

運營業務委託保護者説明会議事要旨

【日 時】平成 28 年 8 月 3 日 19 時 30 分～21 時 30 分

【場 所】千里新田留守家庭児童育成室

【出席者】木戸地域教育部次長、脇谷放課後子ども育成課長、植村同参事、
日比同主査、(書記) 山下同主査

【吹田市より配布書類説明】

(保護者)

民間委託すると人員の確保ができる理由を教えてください。教員や保育士の免許が必要であることや、直営育成室の指導員は、非常勤職員でなければならない等、色々あると思いますが、どうなのですか。

(吹田市)

直営育成室の指導員は市の職員であり、市の職員となると、採用や任用方法等に地方公務員法上の制約が出てきます。一方、委託の場合については、午前中は保育園で働き、午後から育成室で働くという働き方で、正職（フルタイムで正規雇用の職員のこと）が働くことも可能になっています。また、それだけでなく、午後から育成室だけを勤務するというパートタイム職員の雇用も可能である等、採用方法や勤務時間など、その人にあった働き方ができるので直営の場合に比べて、人材確保がしやすいと考えています。

(保護者)

正職というのは、どういったものですか。

(吹田市)

フルタイムで働く勤務形態の職員の事で、事業者に正規採用されている者のことです。

(吹田市)

民間事業者の人材確保のところの補足ですが、社会福祉法人や学校法人は、自身の園等を長期間運営していると、それぞれ独自の人脈を持つようになり、以前、自身の園等を子育て等の理由で退職をしたが、学童保育のような午後だけの仕事であれば、勤務可能である職員もいると聞いています。民間事業者も人員に余裕があるというわけではありませんが、我々の（色々と制約がある中での）採用よりは、少し余裕があると考えています。

(保護者)

定員の話がでましたが、来年度4年生までの受入を開始することで、定員を超えた場合はどのような対策を考えていますか。

(吹田市)

定員は1クラス40名としていますが、40名定員とすると待機児童が生じる場合は、定員を45名まで受入れていました。条例等により、40名の定員とすることで、待機児童が生じる場合は、定員を45名とするまでは受入をしていくこととしています。ただし、それ以上に児童数が増えるようであれば、新たな施設確保をしていくこととしています。委託とは別の話にはなりますが、このように、他の育成室でも施設確保に動いているところもあります。千里新田育成室も、仮にそのようになれば、新たに施設確保を検討していく必要があると考えています。

(保護者)

4月の時点で90人を超えた場合はどうなるのですか。

(吹田市)

4月の時点で90人は、超えてこないと判断しています。今年も1年生は多かったが、仮に、同じくらい1年生が多くても90名の範囲内には、収まると考えています。

(保護者)

収まらなかったらどうなるのですか。

(吹田市)

収まらない場合は、新たな施設の確保に動くこととなります。緊急的には、学校のどこかの施設を使えように協議をしていくこととなります。

(保護者)

待機児童とはしないのですか。

(吹田市)

待機児童については、極力出したくはないと考えています。

千里新田だけでなく、全市的な育成室のこととして考えてもらいたいのですが、4年生まで年限を延長した場合、どれくらいニーズがあるのか。このことについては、我々も見込は出していますが、未知の部分もあります。仮に、見込みを越えてくることがあれば、待機児童を出すことを検討する可能性もあります。

(保護者)

事業所の選考は12月までに決まるのですよね。

(吹田市)

はい、その頃になります。

(保護者)

12月ごろには待機児童が出るかどうか、わかるのですか。

(吹田市)

申込時期が10月ごろから始まる予定です。12月ごろには、待機児童がでるかどうかは、一定は読むことができると考えています。必要であれば、その時点で施設確保の対策をとっていきたいと思っています。

(保護者)

待機児童が出る見込みであっても、業者の選定は継続して行われるのですか。

(吹田市)

委託の計画は進めていくこととなります。必ず待機児童が出ない育成室だけを委託対象にするのでは、拡大し続ける需要に対応できません。仮に待機児童が出る可能性があっても、指導員確保のためには委託を進めていく必要があると考えています。

(保護者)

民間委託をすることのメリットとしては、指導員の確保がしやすいところがメリットであるならば、児童が多く入ってきた場合でも、受入はこれまでどおり保障してくれるのですか。

(吹田市)

委託になったからといって、児童が一つの部屋に詰め込まれるようなことはありません。設備等の環境面については、これまで通り、市が責任を持って果たすこととなります。

(保護者)

市の職員による巡回については、どこまでするのですか。ルールは決まっているのですか。

(吹田市)

4月当初は、自分の職場には戻らずに、3か所の委託育成室を巡回するようにしていました。その後、業務に慣れていくにしたがって、育成室を巡回する時間。回数を減らしています。ただ、現在でも、週1回は巡回するようにしています。

(保護者護)

1年生～6年生まで年限延長されると、入室児童は人数的にどうなってしまうのですか。新1年生が待機となって、既存の児童の6年生が入室することは、市としてどう考えているのですか。

(吹田市)

事業計画では6年生まで年限延長を行うこととなっていますが、まず、4年生を受け入れるから、5、6年生の年限延長を考えていくというように、慎重に進めたいと思っています。

(保護者)

国から対象学年を6年生までとすることを、強制されているということではないのですか。

(吹田市)

対象学年については、市の裁量となります。対象年限については、待機児童が生じるならば、考えないといけません。1年生が待機児童とならないような仕組みを考えていこうと思っています。

(保護者)

自分の子どもは、来年度4年生であり、引き続き育成室を利用したいと思っていますが、子ども達に、どのように見通しを伝えたらいいと考えているのですか。

(吹田市)

吹田市としても、初めてに試みとなります。現在、保育内容について、指導員の代表を含めて協議を行っているところです。来年度か民間委託となったとしても、市が責任を持って、事業者と共に、しっかりと引き継ぎ保育を行っていきたいと考えています。

(吹田市)

異年齢の児童が助け合うことが、これまで育成室のいいところとされてきています。年齢が下の児童の世話をする喜びも、感じてもらえるような指導を進めていけるようにしたいと思っています。

(保護者)

引継ぎは3月で何日くらい実施したのですか。

(吹田市)

書類の引継ぎ以外に、児童との関係づくりのために延べ10日間以上、主任指導員はその半分以上参加する必要があるとしていました。事業者によっては、毎日に近いくらいの日程で引き継ぎ保育を行っていました。

(保護者)

仮に、応募がどこもない場合でも、4年生まで年限延長を行うのですか。

(吹田市)

仮に、委託が計画通り進まない場合は、指導員に多数の欠員が生じることが予想されます。現在もたくさんの欠員が生じていますが、年度内に採用試験を行い、欠員補充をする予定となっています。ただし、4年生の年限延長については、保護者のニーズも高いことから、委託計画が進まず、直営育成室に欠員が生じたとしても、実施する予定です。

また、欠員をできるだけ生じさせないための指導員確保策対応として、現在の指導員の資格要件については、教員か保育士の免許を持っていることとしています。平成19年度までは、これに加えて、児童福祉事業に2年間の実務経験を有する者も資格要件としていました。次年度からは、そういった実績のある人も加えていくことも検討しています。

(保護者)

平成27年度の公募については、5か所の公募を行いました。2か所しか決まっていません。どのような方法で公募を行ったのですか。

(吹田市)

6か所の育成室を一括ではなく、1か所ごとに希望を募る方法をとりました。公募する育成室の近所の事業所に、手を上げてもらいやすくするためにです。

(保護者)

来年度以降、入室児童数が大幅に増えれば、公募対象から外れるということはあるのですか。

(吹田市)

一旦、対象となった育成室は、児童数が増えても対象をはずれることはありません。

(保護者)

民間委託となった後、児童数が増えて定員を超えた場合はどうなるのですか。

(吹田市)

施設については、市が責任を持って整備していきます。

(保護者)

部屋が独立していることが民間委託の条件があったのではないかと考えているのですか、独立した部屋でなくなるのであれば、民間委託の条件が無くなるのではないのですか。

(吹田市)

部屋が独立していることが一番望ましいかとは思いますが、それだけで決めるわけではありません。

(保護者)

今の育成室でも、夏休みに児童全員が午睡をするスペースがありません。ゴザを引くなどして対応しています。現状でも環境としていいとは思っていません。

(吹田市)

以前は、夏休み期間は児童の出席率が下がるので、午睡ができました。ところが、最近では夏休み期間になっても児童数が少なくならないため、多くの育成室で課題となっています。バリアリーの仕様にする等、施設について色々とも問題もありますが、多くの育成室で課題となっていますので、施設整備に努めたいと思っています。

(保護者)

入室児童数が増えれば、小学校と協議していくといいますが、小学校の教室は手洗いの設備もないので、専用教室の部屋に比べて不公平に思います。小学校の教室は、勉強をする場所であって、学童保育として、児童の生活を行う場所とは言えないのではないのですか。そのあたりについては、どのように考えていますか。

(吹田市)

現在、多くの育成室は、小学校の余裕教室を利用して運営をしているのが大半です。この場合、普通の教室をそのまま使用するのではなく、手洗いの設備を設置したり、畳を敷いたり、教室の中を育成室の仕様に改修して、専用教室として使用することが基本となっています。しかしながら、最近では、育成室によっては、時間貸し等で対応しなければならない所も出てきています。校舎内に教室が見出されない場合は、プレハブなどを建てて

いくことを検討していくことになっています。一時的には迷惑をかけることになるかもしれませんが、教室としては、同等の環境整備をしていきたいと思っています。

(保護者)

他の育成室の話ですが、現在、教室を借りていても、その半分は倉庫状態であったり、他にも、当日になって借りている教室が使えなくなることもあるような育成室があると聞いています。先ほどの話とずいぶん違うと思いますが。

(吹田市)

施設の確保が十分ではなく、ご迷惑をかけている所については、そのような現状となっています。ただし、そういった育成室については、新しい建物を建てるように動いています。今年度、そのようなご迷惑をお掛けしなければならなかったのは、待機児童を出したくなかったからです。一時的なものとして、そのような対応をしているところです。少しでもそういった対応の期間を短くするように努めていきます。

(保護者)

待機児童を発生させないためと言いますが、待機児童を出したくないからということで、2名だけ受入れて下さいと、放課後子ども育成課の職員が現場に来て、頭を下げに来たと聞いています。2人だったら入室は可能かもしれないけれど、そのあと2人、3人と増えていけば、現場は対応できないと思います。どこまでするのか疑問に思います。

(吹田市)

その通りだと思います。そういったことを進めていくと、詰め込みになってしまいますので、どこかで線を引かないといけないと思っています。

(吹田市)

我々が考えていることとしては、入室児童の良好な環境を保ちながら、育成室事業を継続していくことと、待機児童を出さないことの2つと考えています。そのために、今回は、最善ではないかもしれませんが、対応したつもりです。新しい建物については、すぐに建てることはできません。計画も含めると最低でも2年くらいかかります。その間については、小学校と協議を行い時間借りの対応をしています。

本来ならば、改修した校舎内の教室とプレハブ等の専用教室で育成室の運用はするべきであると思っています。しかし、実際のところは、学校も部屋がなく、予算の都合もあり、無計画に新しい建物を建てることもできません。そうすると待機児童が生じるようになってしまいます。我々はそれは避けたいので、現場に掛け合って2名程度の人数の受け入れは進めていきたい。しかし、それを進めると詰め込みになってしまう。そのジレンマの中

でやっています。

(保護者)

事業者がばらばらに育成室の委託に応募してきたのであれば、委託した育成室でサービスが異なってくる可能性はあるのですか。

(吹田市)

育成室事業は市の施策のために、一定程度の内容、水準はきっちりと合わせてもらいます。それ以外については、付加サービスとして「そろばん」をしている育成室もあります。市の求める水準を満たしたうえで、独自の取り組みを行う事業者はあるので、そういった部分で事業者により、違いが出てくることはあるかもしれません。

(保護者)

どういことをしてほしいか、事業所に要望を上げることは可能ですか。それとも、事業者に任せているので市ではノータッチとなりますか。

(吹田市)

事業者に要望を上げることは可能です。市の方に直接、言っていただいても結構です。また、事業者や主任指導員とは、他の直営や委託の育成室では、どのような事しているのかという話をするようにしています。そういう話をしていくことで、情報の共有ができ、育成室運営のレベルが上がっていくと思っています。そういったことは、これからはしっかり行うようにします。

(保護者)

学校のプールとの調整を時間外でも対応してもらっています。そういう部分を企業努力にしてしまうのですか。市からは8時15分に来てくださいと言うってもらえるのですか。

(吹田市)

現在でも、指導員のそういった対応のために、就業時間より早く出勤することは言いません。あくまでも、指導員個人で対応していることです。就業時間よりも、少しは早く出勤するのが、常とは思いますが、少し早く出勤するようには、現在も、今後も市から言うことはできません。

また、学校との連携については、当初からスムーズに行くことは難しいので、両者が円滑に行くまでは、市が間に入り、顔合わせの会議の場を設ける等の対応をしていくようにします。様子をみながら、連携が一定できるようになれば、事業者に任すこととなります。

(保護者)

アンケートを行うとありますが、本日配布されている、千里丘北のアンケートについては、最初から委託をしているところであるので、他の、今年度から委託をしている山三、青山台とは違うものとなると思います。山三や青山台はアンケートは取っていないのですか。

(吹田市)

1学期が終わった時点でのアンケートを今、ちょうど取るところです。今後は、夏休みの終わりにもアンケートを取る予定をしており、年度末に、1年間の振り返りのアンケートを取る必要をしているところです。

(保護者)

アンケートの結果に不満が出た場合などは、良くなるように事業者に対して、市が改善の指導をするのですか。

(吹田市)

アンケートの結果については、運営に反映させなくてはいけないと思っています。アンケートの結果を踏まえながら、事業者とは、これからの運営について、改善点を含め話をしていくようにします。

(保護者)

アンケートで保護者から不評なところがあって、市が指導をしても、事業者が対応しない場合はどうなるのですか。

(吹田市)

仕様書を守っていないならば、改善の指導をしていくことになります。なぜ、アンケート結果を踏まえて、仕様書の遵守に向けた改善をしないのか話していかなくてはならないと思います。最悪のケースであるかとは思いますが、どうしても仕様書を守らない場合は、契約の解除ということも考えられます。

(保護者)

今年度、委託を開始した育成室には、まだアンケートはないということですか。

(吹田市)

今年度は、まだ、取れていません。

(保護者)

アンケートを元に改善された事例はないということですか。

(吹田市)

千里丘北ではそういう事例があります。

(保護者)

千里丘北については、新設育成室なので、初めて育成室を利用するようになった方ばかりですよ。

(吹田市)

新入室の方以外にも、他の育成室を利用されていて、他の育成室を変わられてきた方もいます。他の育成室のことを全く知らない方ばかりということではありません。

(保護者)

人材の確保がキーポイントだと思うのですが。民間の場合は採用のバリエーションがあるとのことでしたが、市も様々な工夫や努力してきたのだと思うのですが、どんな工夫がされたのか教えてもらえますか。

(吹田市)

市の指導員の採用方法については、地方公務員法等の法令の制限を受けることとなります。したがって、どんな方法でもいいということにはならず、勤務時間や職務専義務等の制限があります。そのような中、現在、指導員の資格要件を拡大をすることで、新規採用の指導員をより多く確保していきたいと考えています。

(保護者)

それ以外には何かありませんか。

(吹田市)

課題として認識していることとしては、新規採用の少なさと、もう1つは、定着率の悪さがあります。複数の指導員が、採用後短い期間で辞めてしまっています。定着率を上げるためには、放課後子ども育成課に、公立保育園の園長等の管理職経験で、定年退職した者を非常勤職員として採用しており（スーパーバイザー、SVと言っています。）、SVが新規採用の指導員がいる育成室を巡回し、業務上や人間関係での悩み等の相談を受け、アドバイスをする等をして、新規採用指導員のフォローをしています。

SVについては、委託育成室の保育内容を巡回してチェックするというのもしており、上記の業務も含めて、今年度より1名増員して体制強化を図っています。

(保護者)

指導員の方のフォローをすることで、離職率は下がると思います。そのあたりはお願いしたいです。それ以外にも、労働条件の改善を含めて考えてもらいたいのですが、例えば、1時間だけの勤務する職員を雇用して、労働条件の改善を図るというようなことはできないのですか。

(吹田市)

臨時雇用員というアルバイト契約の職員の採用も行っています。(1時間の勤務はありませんが、) 実際に、短い時間の勤務の臨時雇用員を配置するような運用も行っています。

(保護者)

採用の入口は入りやすくして、離職率を下げ、指導員に長く続けてもらえるようにしてもらいたいです。

(吹田市)

指導員は頑張っていると思っています。指導員が、少しでもこの仕事をしていてよかったと感じることができるように、していきたいと思っています。

(保護者)

人員確保についてですが、民間委託先で人員が欠けたときはどうなるのですか。

(吹田市)

バックアップ要員を含めて考えるような募集を行います。現在委託している育成室では、体調不良で指導員が休んだ場合は、園等の事業者自身の施設のから、一時的に他の職員がかけつけるなどの対応をしています。事業者のほうで、そのような人員の対応するように求めています。

(保護者)

1日くらいなら人が欠けて対応していたが、事業者が言い出しにくく、言わなかったというようなことがないようにして下さい。

(吹田市)

そういったことはありません。現場には、アポイントなしに市から職員が巡回するようにしており、状況は随時確認しています。ただ、一定の信頼関係も保っていく必要はあると思っています。

(保護者)

青山台と山三のアンケートはまだ取れていないことに驚いています。クレームなど保護者からの意見が聞けていないのではないですか。全く知らないということですよ。保護者とも話していないということですよ。

(吹田市)

そのようなことはありません。山三や青山台の育成室には、一学期の学級懇談会にも参加しています。また、すべてではありませんが、保護者の方とも話をしています。話の中では、上手くいっていないことは、市に直接苦情を言ってもらえるようお願いしています。アンケートが取れていながらといって、保護者の意見を聞けていないとは考えていません。

(保護者)

具体的にどんな意見があったか聞けていないのですが。

(吹田市)

具体的なクレームのような話ということになりますと、保護者の負担が軽くなったとの裏返しとして、保護者会と指導員とが疎遠に感じられるという声を聞いています。それ以外でいうと、自由遊びが増えて、集団遊びが少なかったのではないからなどの声を聞いています。いずれにせよ、そういった声については、事業者には話をしており、改善すべきところは改善するように努めています。

(保護者)

保護者にもいろいろな方がいらっしゃいます。保護者会が面倒だと考える方もいらっしゃいます。保護者会がないと物足りないとか、子どものためなのにと考える方もいます。以前と変わらない保育を行ってもらいたいと思っており、同じ保育行うことができるようにするための、保育の引き継ぎであると思いますが、引き継いだばかりで違う点があっても仕方がないというのはおかしいと思います。

(吹田市)

引き継いだばかりなので、違う点があっても仕方がないというようなことは申し上げていません。それを評価している方もいます。しかし、不満に思っている方がいる以上、早急に何らかの改善に努めていく必要があるということです。

(保護者)

具体的に苦情があり、それについて改善したことはあるのですか。

(吹田市)

4月当初に、指導員が連絡帳を書いていないのではないかという苦情が事業者にありました。事業者としては、連絡帳については、使用しないということではなく、怪我や体調が悪い等、必要な時は記入するが、少しでも児童に向き合う時間を多くするために、何もない日は記入しないという考え方でした。保護者からは、連絡帳を見てもらっているかが、わからないという意見だったため、連絡事項がない日でも、一言だけでも記入したり、サインをするようになりました。事業者としては、子どもと向き合う時間を減らしたくないと思いを持っていました。保護者の意見を取り入れて変更をしました。

(保護者)

保育内容については、思っていたのと違うということはありませんか。

(吹田市)

集団遊びの時間が減ったのではという意見を頂いたことがあります。それ以外は、特に我々に上がってきたことはありません。それについても、SVの巡回も含めてアドバイスをを行い、色々な意見に対応できるように努めています。

(保護者)

それは、青山台と山三であったことですか。

(吹田市)

千里丘北も含め、これまでであったことの話です。

(保護者)

千里丘北は民間委託の育成室しか知らない方ばかりではないのかと思うのですが。

(吹田市)

1年生については、千里丘北しか知らないですが、2、3年生については、他の育成室から変わってきた児童もいます。

(保護者)

今まで直営であり、新たに民間委託に変更となった育成室のアンケートが入っていません。最初から民間委託として始まった育成室のアンケートだけしかないとの説明はありませんでしたが。

(吹田市)

説明が不足していたかもしれませんが、あくまでもアンケートは参考までにお示しているものです。山三、青山台については 1 学期終了時点でアンケートを取る予定にしています。山三、青山台では、4月の保育開始前に、引き継ぎの中で、保護者の皆様と事業者と市の職員とで打ち合わせを行い、保護者の皆様からのご意見等を頂いています。

(保護者)

アンケートでは、ほとんどの答えが、良いものとなっており、委託をしてもいいとの提示できているということだと思います。ですが、委託後の姿が全くイメージできていないので、いいアンケートを見せられると、それ自体に不信感を感じます。何かを新しいことを始めると、メリットとデメリットがあると思いますが、デメリットの説明がないと意味がないと思います。

(吹田市)

メリットとデメリットの話となりますと、当然、デメリットもあります。市の担当職員からの説明でデメリットとして連絡帳のことがあったと思います。ただ、それをそのままにしておくのではなく、我々が足を運び、事業者と話をし、指導もすることによって、デメリットを改善し、保護者の皆様の意見を反映させていくことに繋がると考えています。しっかりと事業者を見て必要な時には改善することができるよう進めていきたいと考えています。

(保護者)

ほとんどの保護者が、他の育成室のイメージができていないのが課題であると考えています。ほとんどの保護者は、他の民間委託の現状が見えないので、イメージが湧かないのではないかと思います。したがって、早い段階での情報の開示をお願いしたいです。市がやっていることを見えるようにすることが一番納得できることです。できるだけ早い段階で、新しく委託した育成室のアンケートの結果を見せていただきたいと思います。今の段階で、いつごろアンケートを渡して、回収して、集計しようと考えているのですか、スケジュールを教えてください。

(吹田市)

遅れていることについては申し訳ないと思っています。夏休みが終わるまでにはアンケートを回収したいと考えています。また、集計結果をお見せするのが、いつになるかを連絡したいと思っています。(数が少ないので、)集計自体はそれほど時間がかからないと思っています。

(保護者)

9月には見せてもらえますか。

(吹田市)

また、いつごろになるかはお知らせします。

(保護者)

保護者への説明はしていますが、子ども達にはどうしていくのですか。先生が変わることをどう説明して、どうやってフォローしていくのですか。

(吹田市)

保護者の皆様とは、随時、色々と話をしています。したがって、児童が保護者から聞くこともあります。それは別として、3月の子ども達との関係づくりのため、教室の中で保育をする際に、「4月からよろしく」と子ども達と話をしてきました。「民間委託をします」というような事務的な説明はしていません。児童のことについて、研鑽を積んだ指導員が、引き継ぎ保育の期間で子ども達との関係を作っていく、その中で4月から指導員が変わることも伝えていくようになります。

(保護者)

4月から、指導員が全員変わることになりますが、子ども達の様子はどうなるか不安なのですが。

(吹田市)

直営の場合でも指導員は替わりますので、そのあたりは変わらないと思っています。

(保護者)

直営の場合は、全員が同時に変わることはないですね。

(吹田市)

過去には、直営の育成室でも指導員が同時に全員が替わったことがあります。指導員は全員変わりますが、友達や育成室の場所等、替わらないものもあります。既に民間委託している育成室では、指導員が全員変わったからということで、保護者から苦情は来ていません。児童のことについて、状況に応じて、どのようなやり方で進めていくか考えていきたいと思えます。

(保護者)

引き継ぎ保育の話ですが、何か細かい内容のリスト等を作成しているのですか。事業者にそういうリストを持って提案しようと考えていますか。また、そういうものは、全くなく、行事単位くらいの引き継ぎを行うつもりですか。

(吹田市)

これまで、子ども達との関わりを中心に引き継ぎ保育を行ってきました。引き継ぎ保育では、3月までの指導員と4月からの委託先の指導員が、話をする時間を別にとることにしています。下校のコース、行事、日々のスケジュールやおやつメニュー等、指導員同士が直接話して引き継ぐようにしています。

(保護者)

それは指導員に任せるとのことですか。連絡帳がないことにびっくりしました。連絡帳があることが引継ぎ事項に含まれていないことがびっくりです。大きな行事のあるなし以外にも、細かい行事の引継ぎも必要なのではないですか。日々の楽しいできごと引き継いでもらいたいと思います。

(吹田市)

引き継ぎについては、クッキング保育をはじめとして、どういう育成室の運用をしてきた等、日々の保育を市の職員が作成した様式を使って、それを見ながら指導員同士で引き継ぐようにしています。色々な子ども達がいるので、お子さんに関する引継ぎ資料を作り、それを見ながら引き継いでいくという方法です。

また、1つ誤解があります。連絡帳についてですが、連絡帳がないわけではありません。連絡帳はございます。利用方法として、少しでも子ども達との直接的に関わる時間を作るために、何もない日は連絡帳の記載をしないという運用を考えていたということです。そのあたりのことも含めて、民間委託の事業者には説明していきたいと思います。

(保護者)

具体的な引継ぎ書類ができたときに、保護者の意見や要望をいう場はあるのですか。

(吹田市)

育成室での行事やイベントに関わる引継ぎは書類については、確認していただくことも可能です。個人情報を含むもの以外はお見せして進めてきました。

(吹田市)

事業者が決まってから、こういう保護者説明会のような形で、何度か打合わせを行いま

した。指導員が替わるということで、通常は1年生だけの個人面談を、忙しいかとは思いますが、全ての児童に対して行うようにしました。また、配慮がいる児童については、より丁寧な説明を行うようにしました。

(保護者)

資料の中では、保育内容は変わりませんとありますが、事業者の選定方法が、公募のプロポーザル方式というのであれば、仕様書の内容をクリアしていれば、後は何をしてもいいですね。そろばんであるとか、そういう提案をされることもあるということですよ。

仕様書の中で遊びについては、ケン玉はとか王陣とか、例としては書いていますが、しなさいとは書いていません。例えば、新しく決まった事業者が仕様書の遊びの提供を守っていれば、ケン玉やりませんと言えしなくてもいいと思います。それならば、感覚的には変わるのかなと思ってしまいます。おやつについては「変わります」のところに入っているので、変わるのではとも見えてしまいます。変わります、変わりませんということも、人によって感じ方が違うのかなと思うのですが。

(吹田市)

細かい遊びの引き継ぎも、事業者と保護者との間で行いました。今まで子どもたちが楽しんでいた遊びは、運営を円滑にするためにも、積極的に取り入れようとするはずですが、事業者も子ども達が楽しんで過してもらうことが一番いいと思います。千里丘北の事例でいうと、受託した事業者は保育園でケン玉をしていたわけではないが、育成室ではケン玉を取り入れています。そのよう遊びについても、子ども達が楽しめるようなものを取り入れるように促していきたいと思います。

(保護者)

まだ、納得できていない方や、今日の話咀嚼してから話したい人もいらっしゃると思います。市からまた話をするために来ていただけるとのことですので。それは学級から日程をお知らせしたいと思います。

(吹田市)

本日はありがとうございました。他の育成室でも違う意見が出ることもあると思っています。次回はそういう意見もお知らせしたいと思います。